

議会ガイド



こどもり春物語ツアーの様子

小説「津軽」の像記念館にて ～4/14, 15日開催～

第1回定例会 (平成24年3月)

目次	■ 第1回定例会	……………	P 2
	■ 予算特別委員会	……………	P 4
	■ 一般質問	……………	P 6
	■ 第1回臨時会	……………	P 11
	■ 委員会の動き	……………	P 12
	■ 議会の動き	……………	P 12



平成二十四年度一般会計当初予算

七十八億三千九百万円で可決

第1回定例会

3月9日～
3月19日



多額の費用を要した今冬の除排雪の様子

平成二十四年第一回定例会が、三月九日から十九日までの日程で開かれました。九日には、議案三件と発議一件を先議。十四日には一般質問が行われ、川山議員、青山議員、山田議員、塚本議員、荒閑議員の五名が、町側の答弁を求めました。十五日と十六日には、全議員を委員として構成される予算特別委員会が開催され、平成二十四年度町一般会計及び各特別会計の当初予算を審議しました。最終日の十九日には、質疑、討論、採決が行われ、一般会計及び各特別会計の予算八件、条例改正や一般会計補正予算など議案二十四件、人事案件二件、発議一件、報告三件が、いずれも全会一致で可決、承認、同意されました。また、陳情二件は不採択とすることに決定しました。

可決

■一般会計補正予算第十五号

主な補正額(歳出)は次のとおり。

- 総務費
 - ・ 財政調整基金積立金 二千七百七十二万円
- 民生費
 - ・ 介護分野人材育成 減額 五百一十万円

- 衛生費
 - ・ 国民健康保険特別会計繰入金 七千七百七十一万円

- ・ 後期高齢者医療特別会計繰入金 減額 一千二百十五万円
- ・ 一般廃棄物最終処分場建設工事 減額 三千二百六十五万円
- 農林水産業費
 - ・ 県営高根地区湛水防除事業負担金 九百十九万円

□ 土木費

- ・ 道路測量・設計等 減額 五百五十四万円

□ 教育費

- ・ スクールバス購入事業 減額 五千四百八十万円

■国民健康保険特別会計補正予算第五号

- 事業勘定の歳入歳出を六千七百九十四万五千円追加し、診療施設勘定の歳入歳出を八十四万六千円減額するもの。

■介護保険事業特別会計補正予算第五号

- 歳入歳出を二千七十万三千円減額するもの。

■農業集落排水事業特別会計補正予算第一号

- 繰越金の確定により歳入を内部補正するもの。

■漁業集落排水事業特別会計補正予算第一号

- 繰越金の確定により歳入を内部補正するもの。

■特別養護老人ホーム静和園事業特別会計補正予算第五号

- 歳入歳出を五百三十万九千円減額するもの。

■後期高齢者医療特別会計補正予算第一号

- 歳入歳出を一千二百一十六千円減額するもの。

報告

■一般会計補正予算第十三号(専決処分)

- 町道除雪にかかる経費三千九百五十万円を追加するため専決処分したものの。

■西北五広域福祉事務組合の規約の一部変更(専決処分)

- 児童福祉法の一部改正に伴い規約の一部を変更するため専決処分したものの。

■一般会計補正予算第十四号(専決処分)

町道除雪にかかる経費
五千万円を追加するた
め専決処分したものを。

条例改正

職員等の旅費に関する条例の一部改正

当分の間、県内旅費車
賃を一キロあたり二十五
円とするもの。

乳幼児医療費給付条例の一部改正

ひとり親家庭等医療費給
付条例の一部改正

医療機関へ支払後に、
町に申請していたものを
町が、直接医療機関に負
担するもの。

介護保険条例の一部改正

介護保険料を値上げ改
正するもの。

放課後児童健全育成条例の一部改正

中里小学校学区の定員
を改めるもの。

道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の改正に
より改めるもの。

その他

指定管理者の指定

各施設の指定管理者を定
めるもの。

・施設名老人福祉センター、
管理者(株)中泊町社会福祉
協議会、期間三年間

・施設名小説「津軽」の像
記念館、管理者小泊観光
協会、期間三年間

・施設名野菜集出荷予冷施
設、管理者つがるにしき
た農業協同組合、期間三
年間

・施設名野菜育苗施設、管
理者つがるにしきた農業
協同組合、期間三年間

・施設名地域特産物直売施
設、管理者つがるにしき
た農業協同組合、期間三
年間

・施設名小泊・港老人憩い
の家、管理者(株)小泊うみ
どりーむ振興社、期間三

年間

町有財産の無償譲渡

十三湖東湖岸及び河川
管理施設を国土交通省へ
移管するもの。

土地面積 二万七千七百
十六・七十五平米

町道の路線廃止

町道の路線認定

町道板割線の一部が県
営小泊地区中山間地域総
合整備事業に編入される
ため廃止し、その他の区
間を再認定するもの。

人事案件

教育委員会委員の任命について

成田金春氏の任期が、
平成二十四年五月十七日
をもって満了することに
伴い、後任の委員として、
同氏を再任するもの。

・施設名農村活性化施設、
管理者(株)アクトプラン、
期間三年間

教育委員会委員の任命について

現委員の任期が平成二
十四年六月三十日をもつ
て満了することに伴い、
後任の委員として荒関
徳勝氏を推薦するもの。

現委員の任期が平成二
十四年六月三十日をもつ
て満了することに伴い、
後任の委員として荒関
徳勝氏を推薦するもの。

先議

つがる西北五広域連合規約の変更

西北五地域医療圏自治
体病院機能再編成に伴い、
規約の一部変更をするも
の。

青森県市町村総合事務組合規約の変更

青森県市町村退職手当組合規約の変更

加入団体数の変更によ
るもの。

発議

農業委員会委員の推薦

農業委員の任期が三月
二十七日をもって満了す
ることに伴い、葛西誠氏
と葛西徳男氏を推薦する
もの。

議員派遣について

議事会議規則第二百二十
二条の規定により議員を
派遣するため。

陳情

国保国庫負担率の大幅引き下げ等の意見書提出を求める陳情書

当町の国保運営の実情
と一致しないことから不
採択とすることに決定。

介護保障制度に関する意見書提出を求める陳情書

見書提出を求める陳情書
関係部分は決定事項の
ため議決を要しないこと
から、不採択とすることに
決定。

中泊町全会計予算額一覧 (単位：千円)

		本年度予算額
一般会計		7,839,000
国民健康保険 (事業勘定)		2,450,658
国民健康保険 (施設勘定)		423,112
介護保険事業		1,405,337
農業集落排水事業		35,942
漁業集落排水事業		22,696
特別養護老人ホーム静和園事業		314,624
後期高齢者医療		241,290
水道事業	収益的収入	337,241
	収益的支出	310,204
	資本的支出	184,437

予算特別委員会

3月15日・16日

三月十五日、十六日の二日間、全議員をもって構成する予算特別委員会(委員長山田光春、副委員長塚本悦子)が開かれました。十六日には、採決が行われ、いずれも全会一致で認定されました。

一般会計予算の

質疑と答弁(要約)

■野上(憲)委員

新年度、青森県市町村税滞納整理機構が設置されるが、これによって我が町も幾らかでも今以上の徴収率が上がるよう見込んでいるか。

■熊木税務課長

機構ができることによつて税収が徐々に上がつていくものと期待している。

■野上(憲)委員

徴収率で、町税が九十六%で国保が八十八%では、町税と国保税の徴収率の差が開き過ぎるのではないか。

■熊木税務課長

国保税が、ここ数年アップし、納め切れないという状況もあるので、今後状況を分析しながらまた対策を進めていきたい。

■野上(憲)委員

報道機関等でも多く出ているが、当町にも不在となつた廃屋がいつぱいある。

ことしも消防団等が出て何軒か雪おろし等に協力しながらやつていたが、解体に對しての助成措置等を考えているか。

■小野町長

秋田の大仙市等は取り壊しまで行政が代執行しており、それを勉強しながら、進めていきたい。

■川山委員

建設予定の農産物加工販売施設の当初の売り上げ目標額がどういった経緯で二億二千万円ぐらになつたのか。

■飯塚農政課長

加工品の直売所の売り上げを二億円、レストランが一千五百万円、加工施設が五百万円と、二億二千万の

売り上げ目標を掲げている。内訳は、農産物の直売が一億円、それから、売り場面積がかなり広くなるので、海産物の直売も考えている。それを一千万円、それから加工施設を併設するので、その加工品の売り上げ等が七千万、土産品とか各町村の物産等についても販売するその他として二千万円を見込んでいる。

■川山委員

新しい公営住宅の計画案が示され、二通りの予定でどちらかの場所を選びたいということであつたが、住宅の建設場所は、既存の(公営)住宅に近いほうがいいのでは。

■三上環境整備課長

今計画している公営住宅は、一棟二戸の住宅で考えている。全体的にまとめたほうがよいということ、これについては一案、二案で示したとおり、二案についても配置を今検討している最中であり、大まかに三

案ぐらいになる。それぞれ利便性とかメリットを考慮し、最終的に一つに絞つて皆さんに示して事業を進めていきたい。

■荒関委員

公営住宅中里団地の解体は、いつになれば終わるのか。

■三上環境整備課長

今現在二戸予定しているが、今後これをふやしていかないと、危険な状態もあるし、いたずらされても困るので、これをスピードアップしていきたい。

■荒関委員

五所川原地区消防事務組合負担金は、一回払えばいいのか。

■秋元総務課長

高機能消防司令センターの負担金であり、これが消防本部の建てかえの部分である。負担する分は、合計で五千九百九十五万六千円となつている。

主な当初予算

(一般会計分)

- ・ 磯焼対策推進事業 百二十二万円
- ◇ 土木費
 - ・ 町道十三号線改良事業 四千六百万円
 - ・ 公営住宅建設事業 一億五百四十四万円
- ◇ 教育費
 - ・ スクールバス購入事業費 三千四百六十万円
- ◇ 衛生費
 - ・ 一般廃棄物最終処分場建設事業費 七億五千四百四十万円
- ◇ 農林水産業費
 - ・ 農産物加工販売施設整備事業費 五億一千六百二十七万円
 - ・ 県営高根地区湛水防除事業費 四千四百万円
 - ・ 県営薄市地区ふるさと農道緊急整備事業費 八百五十万円
- ◇ 総務費
 - ・ 公用車購入事業 二百四十八万円



建設工事中の新一般廃棄物最終処分場

特別会計予算の質疑と答弁(要約)

国民健康保険 特別会計分

■ 沖崎委員

人間ドックへの助成金があるが、何人ぐらい利用しているか。

■ 古川町民課長

予算は十名分計上しているが、町の健診を受けている人間ドックは必要ないので、受けられなかった方が対象となる。

農業集落排水・漁業集落排水特別会計分

■ 荒関委員

特別会計でありながら毎年一般会計からの繰入金があるが、いつごろ解消するのか。

■ 秋元上下水道課長

加入率が農業・漁業集落排水事業も五十%に満たしていないことから何十年後となる。

■ 荒関委員

下水道整備事業は、今後やるのかやらないのか。

■ 小野町長

中里地域については計画を組んで、設計の段階まで行ったが、農業・漁業集落排水事業の加入率が上がらないので今は休んでいる。景気がよくなればその方向でやりたい。

■ 古川町民課長

大体1%で六百万ほどの歳入増となって、5%で三千万ぐらい、大体世帯で割れば一万円弱安くなる。

水道事業 特別会計分

■ 荒関委員

水道の加入が、前年度に比べて四十六戸減少したことから、収益収入を低く見ていながら、職員の給与が一人分増えているのは。

■ 小野町長

水道の場合は有資格者や経験豊富な職員でなければ大変である。

■ 川山委員

水道料金で、工業用というのは何件ぐらいあるのか。前回の値上げでは、工業用を直撃するような上げ方で、民間でも苦しいのになぜかという理由で工業用だけ特別上がったのか。

■ 秋元上下水道課長

料金の改定は平成十九年に行っており、仕分けとしては家庭用、団体用、営業用、工業用、それから浴場プール用、臨時用と、いろいろ用途がある。工業用の

件数は後ほどお知らせしたい。

■ 野上(憲)委員

超過料金が高い。事業所、いわゆる大量に使うところであれば高くて使えない。直そうとしないのか。

■ 小野町長

料金については、もう少し検討させていただきたい。

■ 水道料金使用料

用途	使用料(1箇月につき)			適用
	基本		超過料 1mにつき	
	水量	料金		
家庭用	10m ³	2,550円	270円	一般家庭用
団体用	10m ³	2,830円	320円	官公庁、事務所
営業用	10m ³	2,830円	320円	料理飲食店、理髪店
工業用	10m ³	2,830円	320円	製造業用
浴場、プール用	100m ³	27,760円	250円	公衆浴場
臨時用	10m ³	4,640円	490円	工事現場用
私設消火栓用	10m ³	2,830円	250円	

一般質問



川山光則議員

未使用の各種住宅の今後の見通しは

Q

現状では小泊中学校の前の教員住宅や花丘団地とか、かなりの数で空き家となっているが今後の対策は。

A

三上環境整備課長
花丘団地の空き家が四戸あるが、長屋のため棟全体が空き家となれば解体をしたい。

Q

小泊地域住民からは行政に対する不満や不安の声が年々多くなっている。小泊支所の職員は小泊の実情がわかっているのか。

A

小野町長
合併以来これまで七年間町政を担当しているが、最も気を使ってきたのが地域的に格差を生じさせないことであった。今後バランスのとれたまちづくりを基本に町政を進めたい。

A

加藤教育長
入居不可能なのが十戸あり、そのうち一戸は改修して、高齢者大学の陶芸クラブに使用させている。あとの九戸は普通財産へ移管してある。

A

浪内財政課長
土地が七千六百平米ぐらいの中に建物が入っている。その土地が教育財産のままでは町部局では処分できないので、測量、分割して、解決できれば、処分したい。



小泊地域の実情を把握しているか

A

らおうと懸命にボランティアで頑張っているところへの予算はほとんどゼロに等しい。観光業者へのアンケートとか要望を聞きに歩いたことがあるのか、今後の対応は。

A

小野町長
昨年三月十一日の東日本大震災で本県でも特に旅館の方々は大変な憂き目に遭っている。アンケートはやっていないので、今後検討したい。現在、観光ポスターやパンフレット等の作成、中泊町の玄関口である中里駅には観光PRビデオの設置など、PRに努めているところであるが、今後権現崎に、平成二十四年度予算で駐車場の整備を計画したい。

Q

合併から今現在までの町の職員採用と小泊地区出身と思われる人数は。

A

秋元総務課長
合併後は職員を十名を採用しているが、そのうち小泊出身者は平成二十一年度に一名となっている。

今後の観光対策への取り組み方は

Q

町の予算を見ても観光を思いやる予算が見当たらない。町の観光客を一人でも多く来ても

一般質問



青山雅晴議員

ヒートショックに対する 町内での対応は

Q

今全国でヒートショックによる死亡が急増している。福祉センターの温泉は、改善されているのか。

A

工藤福祉課長
福祉センターは、全館暖房で、特に浴室と脱衣所の温度差を少なくするために、現在はペレットストーブを設置して、予防のために血圧計、さらにAEDを備えて対応している。また、保健センターにおいて各地区での健康相談、

Q

町民で、他の温泉地に行つてヒートショックで亡くなった方はどれくらいいるか。

A

工藤福祉課長
先般当町の方で温泉地で入浴して、亡くなったというお話がある。

集団指導時にヒートショックの原因と対策についての指導を行っている。



福祉センター脱衣所に設置されているペレットストーブ

一般質問は
インターネット・ライブ中継が
ご覧になれます。

パルナス・小泊支所・すくすくしたまえ館の
ロビーにもテレビ中継されています。
ぜひご利用ください。



HPアドレス <http://www.town.nakadomari.lg.jp/index.cfm>

一般質問



山田光春議員

消防防災体制の強化を求める

Q

消防署が火災時に大きなサイレンを鳴らさなければ、団員の方も分からない。大きなサイレンを鳴らしてほしいという要望が二月二十日の火災の時にあった。今後の対策は。

A

赤石小泊支所長
サイレン及び防災無線の放送がないということでしたが、放送はしたが、ハウリング現象により放送がならなかった。原因は電波だと思うので、その原因を業者に早急に見ていただいで対処する。

Q

小泊消防署の隊員の方が非常に少ない。小泊消防署には、地元出身者を配置した方が効率的ではないか。

A

小野町長
小泊地域出身の職員が少ないため、署長とか隊長をやって退職した方々を4月から臨時採用できないか、検討している。

Q

今団員の方も非常に少ないので、もしも役場で職員を新採用する場合は消防団に入るといふ条件で入れた方がいいのではないか。

A

秋元総務課長
現在職員で消防団に参加しているのは一名である。職員の方々にもお願しているが、なかなか進まない状況である。特に小泊地域等は団員も不足している。職員に強制はできないが、勧めていきたい。



小泊消防署に新たに配備された災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車

流雪溝の新設と利用方法について

Q

除雪費削減の一環で流雪溝を設置してはどうか。

A

小野町長
中里地域の派立地区に設置を予定している。現在側溝に投雪型のふたを設置し、流雪溝として使用しているが、水源がないため効果がでない。このため、井戸を掘って水源を確保することから始めたい。設置場所は、昨年十二月に取得した役場駐車場を予定しており、まずは水源を確保して水を流し、現在の側溝や雪の処理状況を調査した後、流雪溝の設置をさらに検討する。

Q

流雪溝に雪を捨てるときに、ふたを開くので、事故防止のために両わきに三角コーンの設置を義務づけてはどうか。

A

小野町長
雪捨てが終わったからふたをきちんと閉めるように防災無線やチラシなどで流雪溝利用者に対してお願いしてきたところであり、三角コーンの義務づけについては検討課題としたい。

雪片づけが終わったら必ずふたを閉めることの指導を徹底してほしい。

一般質問



塚本悦子議員

固定資産税の現状と課題は

Q

町民の一番の関心は、不公平感のない納税である。そのためには税に関する適切な情報、すなわち納税義務者、税率、免税点、償却資産の申告、課税台帳の縦覧、納税管理人の申告などを提供し、納税者が納めやすい環境整備に努めなければならない。

本年度分の固定資産税の収納状況と解決すべき課題は、

A

熊木税務課長

二十四年二月末現在で二十二年と比較すると、九十四・〇四％でプラ

ス〇・六七％の増となっている。徴収に努めているが、徴収率は横ばい、または低下の状況にあるので、これまで実施している対策の継続と電話催告などの対策も実施する。平成二十四年四月に青森県市町村税滞納整理機構が設立されることから、市町村税の滞納整理の対策が強化されるので、滞納整理機構と町の対策を効果的に組み合わせ、滞納繰越分のみならず現年度分の徴収率アップに努めたい。

ス〇・六七％の増となっている。徴収に努めているが、徴収率は横ばい、または低下の状況にあるので、これまで実施している対策の継続と電話催告などの対策も実施する。平成二十四年四月に青森県市町村税滞納整理機構が設立されることから、市町村税の滞納整理の対策が強化されるので、滞納整理機構と町の対策を効果的に組み合わせ、滞納繰越分のみならず現年度分の徴収率アップに努めたい。

Q

収納に関する職員の研修の実施状況はどうか。

A

熊木税務課長

二十三年度では固定資産税の専門的な研修として家屋評価研修に二名、固定資産税研修三日間に一名が参加している。ほかに、県や税務署が主催する研修会に参加し、徴収などの専門的な知識の習得にも努めており、今後とも研修の機会があれば積極的に参加し、職員のレベルアップに努めたい。

納期限内にきちんと納めることは、みんなの暮らしを安心してしているんだね！



傍聴席は、あなたの席です！！

中泊町議会 平成24年第2回定例会は、6月初旬です。
会議は公開されており、どなたでも議会の傍聴ができます。

平成24年第1回定例会の傍聴者は、7名でした。

皆さんの傍聴をお待ちしております。

一度、町議会へ足を運んで、自分の目でご覧下さい

一般質問



荒関富雄議員

高齢者対策・少子化対策の現状は

Q

高齢者の場合は病気になるまで病院に入る。そして、ある程度回復すると病院のほうから退院するが、その退院後の受け入れ態勢が果たしてスムーズにいつているのか。少子化対策としては子供たちに対してどういう医療のサービスをしているのか。

A

工藤福祉課長

高齢者の医療施設から介護施設への受け入れ態勢については、町内の各グループホーム、静和園は現在入所待機者も多く、希望どおりに入所が困難な現状にあることから、入所基準に達し、かつ緊急性の高い入所者の把握に努め、各施設と綿密に連携を図って対処する。

また少子化対策ではこれまで子育て支援事業、保育料免除事業を第2子から、児童保育事業、乳幼児医療



町が運営する特別養護老人ホーム静和園

給付事業と取り組んでいる。乳幼児医療給付事業では、これまでの償還払いから現物給付、つまり医療機関での窓口無料化を予定しており、子育て支援の拡充を図る。

産業振興策と若者定住への取り組みは

Q

産業の振興にあつては、小さい産業であっても、地場産業の振興なくして産業の振興はないのかと考えるが、当局の考えは。

A

小野町長

地場産業の対策等が主となるが、活力ある産業のまちづくりを重点に、農業では生産基盤整備や農道の整備、また漁業では魚礁の設置や漁港整備など進めてきた。平成二十四年度では、農産物加工販売施設の整備と、磯焼け対策推進事業など予算計上している。今後も担い手を中心とした雇用の確保や人材の育成、地場でとれた産品の付加価値づくり、地域でとれたものを地域で消費する地産地消の推進、観光施設や商店街と連携した地域資源の効果的な売り込みなどを進めたい。

Q

今我が町で若者とと言われる人口はどれくらいなのか。そして若者定住のためにどういう対策を講じているか。

A

秋元総務課長

二〇〇五年の国勢調査のうち、〇歳から三十九歳までが五千二十二人、二〇一〇年の国調では四千二百二十六人である。推計を見ると、二〇三〇年には二千人台ぐらいになるのではないかと、非常に危惧される状況にある。

A

小野町長

公営住宅建設事業に係る予算を計上しているが、最大の定住対策は雇用の創出であるので、産業基盤の強化による雇用の創出を基本方針として、今後も若者に魅力あるまちづくりのために鋭意努力したい。

大雪対策の対応は

Q

大雪などになった場合、空き家の除雪も大変問題になっている。大雪災害の被害状況と今後の対応は。

A

秋元総務課長

建物被害は、いずれも非住家で、全壊一、一部損壊が一、倒壊のおそれがあるものの二の計四件、このうち損壊のおそれがあった二棟は、消防署及び消防団に出勤を要請し、屋根の雪おろしを実施した。農薬用ハウスは全壊三棟、中壊三十棟の計三十三となつている。今後見つかるとも予想され、それらに的確に対応したい。



売却された旧大沢内小

旧大沢内小学校払い下げ 三千五百二万円で売却

第1回臨時会

1月11日

平成二十四年第一回臨時会が、一月十一日に開かれ、議案五件が、いずれも全会一致で可決、承認されました。

財産処分

■町有地の処分

- 旧大沢内小学校敷地、建物を売却するもの。
- ・面積：一万三千三百三十三・八六平米
 - ・価格：三千五百二万八千六百三円
 - ・相手方：(社)内潟療護園

条例改正

■税条例の一部改正

東日本大震災で被災された方に対する税の優遇措置の対象期間を延長するもの。

■町農村活性化施設条例の一部改正

■すくすくしたまえ館条例の一部改正

平成二十四年四月一日から指定管理者制度を導入するにあたり、条文を改めるもの。

中里駅を 観光の拠点へ

■一般会計補正予算第十二号

主な補正額(歳出)は、次のとおり。

□商工費

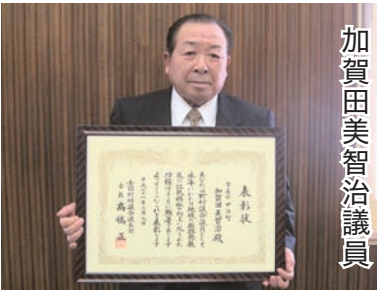
中里駅舎改修工事
四百二十四万円

□土木費

折戸下前線岩石崩壊対策
工事費
一千四百四十九万円

議員表彰

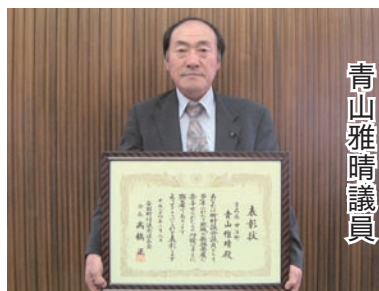
このたび、地方議会議員としての長年の功勞により、加賀田美智治議員(全国町村議会議長会表彰二十七年以上在職)、米塚慎一議員(青森県町村議会議長会表彰十九年以上在職)、青山雅晴議員(全国町村議会議長会表彰十五年以上在職)、兵庫桂蔵議員(青森県町村議会議長会表彰十一年以上在職)が表彰されました。誠におめでとうございます。今後とも、地方自治発展のためご尽力いただきます。ありがとうございます。



加賀田美智治議員



兵庫桂蔵議員



青山雅晴議員



米塚慎一議員

1月

11日 第一回臨時会
 20日 西北郡町議会議長会議長・事務局長会議
 26日 公立金木病院組合議会臨時会

2月

16日 産業建設常任委員協議会
 17日 県選出国会議員要請活動
 18日 津軽・東京吹雪の会総会
 20日 つがる西北五広域連合臨時会
 22日 総務企画常任委員協議会
 民生文教常任委員会
 議会運営委員会
 23日 西北五広域福祉事務組合定例会

3月

9日 定例会開会日
 11日 東日本大震災追悼式
 14日 定例会一般質問
 15日 予算特別委員会
 16日 予算特別委員会
 19日 単行案審議・採決・閉会
 26日 つがる西北五広域連合定例会
 27日 公立金木病院組合議会定例会

民生文教常任委員会

(川山光則 委員長) 2月22日(水)

〈案件〉

- 国保国庫負担率の大幅引き下げ等の意見書提出を求める陳情書
- 介護保障制度に関する意見書提出を求める陳情書
- 高齢者医療制度等に関する意見書提出を求める陳情書
- その他



議会運営委員会

(兵庫桂蔵 委員長) 2月22日(水)

〈案件〉

- 平成24年第1回中泊町議会定例会会期日程について
- 提出議案について
- 陳情書の審査結果について
- 新規に受理した陳情等の取り扱いについて
- その他

